

「タカテツのひとり語り」

— おめでたいこと、おめでたい人 —

新年明けましておめでとうございます。今年は「卯年」、これが人生最期の年男の年になるかも知れません(笑)。ともあれ、今まで生きてこれたことはおめでたいことです。

さて、昨年のワールドカップではベスト8はなりませんでしたが、何と死のグループを1位通過しました。コスタリカには勝てても、ドイツ・スペイン戦は無理だろうと思っていましたので、「サムライブルー様々」で御無礼致しました(土下座)。私の年代は第一次サッカーブーム期で、杉山・釜本を擁し、メキシコオリンピックで銅メダルとなり「奇跡」かと思った時代。

これはドイツ人コーチであるクラマー氏の指導の賜物であり、ドイツに勝ったというのは「恩返し」ということでしょうか。それだけファンタスティックな出来事でした。そして、ロッカールームを片付ける、勿論サポーターもゴミ掃除をしたりとそのマナーの良さも世界からリスペクトされました(快哉です)。

ところがです。この清掃・片付けに対し「**奴隷根性**」だの「**その国の清掃人の仕事を失わせることだ**」のと宣った人達があります。前者は井川意高前大王製紙会長(ティッシュ御曹司)であり、後者は舛添要一元東京都知事です。私は開いた口が塞がりません。井川氏はカジノでグループ会社の資金流用をし特別背任罪、片や都知事時代公用車で湯河原別荘通い…どの口が言うかです。やはり汚いことをやる人はキレイなお嫌いなのか知れませんが…クズやゴミは片付けないといけませんよね(笑)。

外国人は日本に来るとゴミ箱が無いにもかかわらず、キレイだと言います。私は外国に行ってもキレイとは思えないのは、そういう日本という環境で育ったからでしょう(ホコリではなく、「誇り」です)。

確かに欧米は階級社会で、職種別に賃金やチップで生活している人がいます。かと言って散らかし放題で帰るのは如何なものかです。欧米ではホテルでも日本人はキレイに使うと言われます。これは日本の文化で、これで他国の賃金制度等の文化を壊すことなどありません。

まあ、お二方とも「東大法学部」でいらっしゃいますからレベルが違うのかも知れませんが…私は残念ながらア法学部、ム法学部出身なので悪しからず。

奴隷上等！
クズよいまし

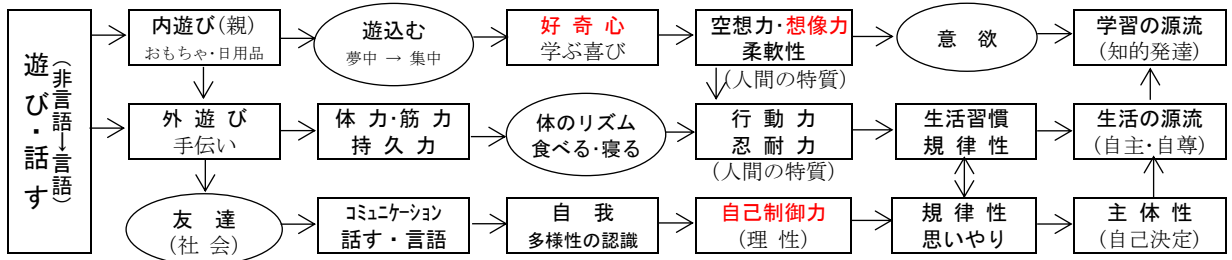


ROKENワークス・アカデミーだより 「ROKEN的研修の考え方」その4 — まとめ「素質」の本質 —

これまでROKENの研修は人間基礎力を含む「**ヒューマンスキル**」を土台とし、仕事の知識と技術(Off-JT)と訓練(OJT)の理論と方法を実践的手法でやるのが特徴であると言いました。

この中で随所に**素質**(Makings)なる言葉が出てきます。実はこれが問題の根源で、一見先天的なものに見える「**シロモノ**」です。研修では仕事力が伸びるのは「**好奇心・興味・関心**」のある人と言っています。これは子供の頃からの育つプロセスで培われるものであり、一口に説明するのが難しいのですが、それこそ人は百人百様の源なのです。これは後天的に育まれますが、仕事社会に入る頃には大きな差となるのです。

簡単なメカニズムは以下ようになります(原点は遊びであり、しつけです)。



ROKEN提供システムズ — 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

■ ROKEN アウトソース・センター

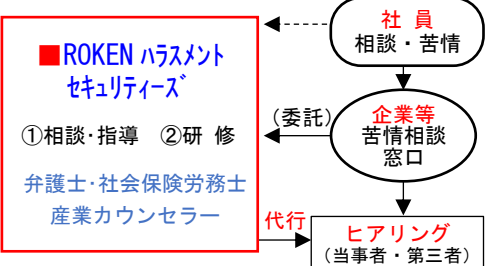
- ・ 電子申請システム(義務化近し)
- ・ 給与計算(明細書電子配信)
- ・ 出退勤指紋(カード)認証システム

■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価

■ ROKENワークス・アカデミー

- ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ 協同組合 労研センター

TEL: 23-7233 FAX: 23-7236
E-Mail: center@roken.jp

■ 株式会社 労研

TEL: 24-8060 FAX: 24-8069
E-Mail: academy@roken.jp

お気軽にお問い合わせ下さい。

roken 検索